

Daily Macro Economic Insights

鉱工業生産(23年10月速報)

ー生産・出荷・在庫は全て増加ー

PwC Intelligence チーフエコノミスト、執行役員 片岡 剛士

シニアエコノミスト 伊藤 篤



10月の生産は前月比1.0%増、先行きは一進一退が続く見込み

鉱工業生産(23年10月速報)は前月比+1.0%と2か月連続で増加した。製造工業生産予測調査(補正值: +1.1%)に見合う動きでありほぼ想定通りであった。前年比は4か月ぶりの増加となった。経済産業省は「生産は一進一退」と基調判断を維持したが、7月以降さえない動きが続いている。業種別生産の動きをみると、前月に続き自動車工業が上昇したのに加え、電子部品・デバイスの上昇が寄与した。鉄鋼・非鉄金属、石炭・石油製品は低下した。

製造工業生産予測調査をみると、11月は-0.3%とわずかに低下した後、12月は+3.2%と上昇する見込みである。11月は電子部品・デバイス工業や金属製品工業を中心に低下する一方、生産用機械工業や輸送機械工業が増加することで12月は上昇する見込みである。生産実績との間で生じるズレを補正した補正值は11月が前月比-1.9%となる。少なくとも年内は一進一退が続くということである。

図表1: 鉱工業指数(生産・出荷・在庫・在庫率、生産能力実績、稼働率)の概要

(%, 変化率)

		生産		出荷		在庫		在庫率		生産能力実績 (製造工業)	稼働率(製造工業)	
		前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前年比	前月比	前年比
2021年	1	3.1	-5.2	4.0	-5.0	-0.3	-10.0	-4.4	-5.6	-1.2	3.4	-2.4
	2	-0.5	-2.2	-0.4	-3.1	-0.6	-9.3	-0.1	-5.9	-1.2	-1.0	-0.6
	3	0.6	3.1	0.7	3.7	0.2	-9.7	0.0	-12.9	-1.1	1.9	7.2
	4	2.2	14.3	1.7	15.8	0.0	-9.9	0.2	-21.4	-0.8	1.6	23.6
	5	-3.7	19.3	-2.4	20.8	-0.1	-8.8	0.2	-26.5	-1.0	-5.2	31.2
	6	4.0	21.8	1.8	18.6	1.6	-4.8	0.3	-21.4	-0.8	5.1	29.8
	7	-1.5	10.9	-1.2	10.3	0.1	-4.3	-0.2	-13.5	-0.7	-3.3	13.7
	8	-3.4	8.5	-4.3	6.4	0.0	-3.8	3.5	-11.4	-0.8	-2.9	10.0
	9	-4.8	-1.4	-5.9	-5.2	2.1	1.0	4.4	0.8	-0.6	-6.9	-3.9
	10	2.6	-3.8	3.1	-6.6	0.8	2.7	0.7	4.7	-0.7	5.8	-4.7
	11	5.5	5.1	6.4	3.0	1.7	6.3	-2.6	1.1	-0.8	7.7	7.1
	12	-1.5	1.9	-0.8	1.9	0.5	6.4	0.0	2.2	-0.8	-0.8	4.0
2022年	1	-0.8	-0.7	-0.9	-1.8	-0.5	5.9	1.3	6.4	-0.7	-3.6	-2.2
	2	1.3	0.0	0.6	-1.9	1.8	8.6	0.5	8.7	-0.7	2.8	1.0
	3	-0.3	-1.6	0.7	-2.7	-0.4	7.9	-0.1	10.0	-0.6	-2.7	-4.1
	4	-0.4	-4.7	0.3	-4.6	-3.5	4.4	-1.6	8.0	-0.8	0.3	-6.4
	5	-4.4	-2.7	-3.8	-3.3	0.5	4.5	3.4	8.5	-0.7	-8.8	-7.0
	6	5.0	-3.0	3.2	-3.3	1.5	4.7	-0.7	8.6	-0.8	9.6	-4.5
	7	0.6	-1.8	0.7	-2.1	0.7	5.1	1.4	10.4	-1.1	0.7	-1.7
	8	1.4	5.7	0.8	5.5	1.1	6.2	-0.3	4.9	-0.8	2.0	6.2
	9	-0.5	8.7	-0.7	9.6	1.7	6.2	2.8	5.0	-0.6	-0.2	12.1
	10	-1.7	3.1	-0.6	4.7	-0.2	5.0	-1.5	3.7	-0.6	1.4	6.7
	11	0.0	-1.4	-0.4	-0.8	0.0	3.5	1.3	6.6	-0.6	0.2	-0.2
	12	-0.6	-2.2	-1.2	-3.1	-0.1	2.7	2.2	10.5	-0.7	-1.5	-2.6
2023年	1	-3.9	-2.8	-3.2	-2.9	-0.7	2.4	2.0	9.6	-0.4	-5.6	-1.9
	2	3.7	-0.6	4.3	0.7	1.0	1.6	-1.6	5.9	-0.4	3.9	-1.4
	3	0.3	-0.8	0.9	0.0	0.4	2.3	1.3	8.8	-0.4	-0.1	0.8
	4	0.7	-0.7	-0.2	-1.3	-0.1	6.0	1.8	12.5	-0.2	3.0	2.3
	5	-2.2	4.2	-1.1	4.0	1.8	7.3	1.5	8.8	0.0	-6.3	8.0
	6	2.4	0.0	1.6	0.8	0.2	5.9	-0.8	10.3	0.1	3.8	0.7
	7	-1.8	-2.3	-1.8	-1.7	0.6	5.7	1.0	9.8	0.3	-2.2	-2.1
	8	-0.7	-4.4	-0.3	-2.8	-1.3	3.2	-1.0	9.1	0.1	0.5	-3.7
	9	0.5	-4.4	0.6	-2.3	-1.3	0.2	-1.7	4.4	0.0	0.4	-4.3
	10	1.0	0.9	0.2	1.0	0.8	1.2	0.1	4.6	-	-	-

出所: 経済産業省より筆者作成。生産能力実績、稼働率は9月確報値の結果である。

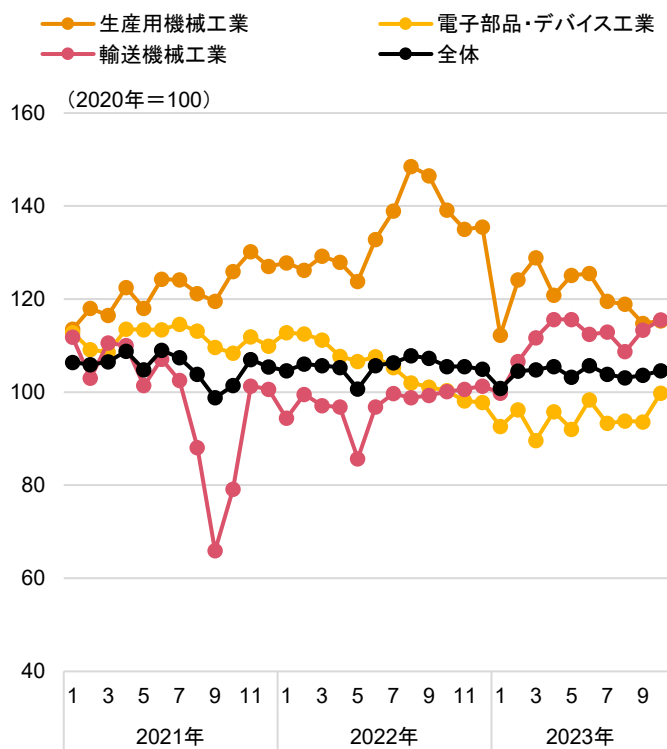
企業の生産マインドの改善が実際の生産拡大につながりうるかがポイント

業種別生産の動き(図表2)をみると、引き続き全体としては横ばい圏内の動きに留まっている。生産用機械工業は2022年9月から2023年1月にかけて半導体製造装置やフラットパネルを中心に大きく減少した。2月・3月は持ち直したものの、4月は再び減少し、5月・6月は増加、7月から10月までは減少という形で今年に入って下落が進んでいる。電子部品・デバイス工業は2022年を通じ減少したのち、10月は増加してやや高まる兆しがある。自動車などの輸送機械工業は2023年6月に減少したものの、2023年に入ってからは増加基調にある。9月は持ち直しており、10月も拡大を続けた。10月の鉱工業生産は電子部品・デバイス工業、輸送機械工業の増加もあって、前月比+1.0%の増加となった。

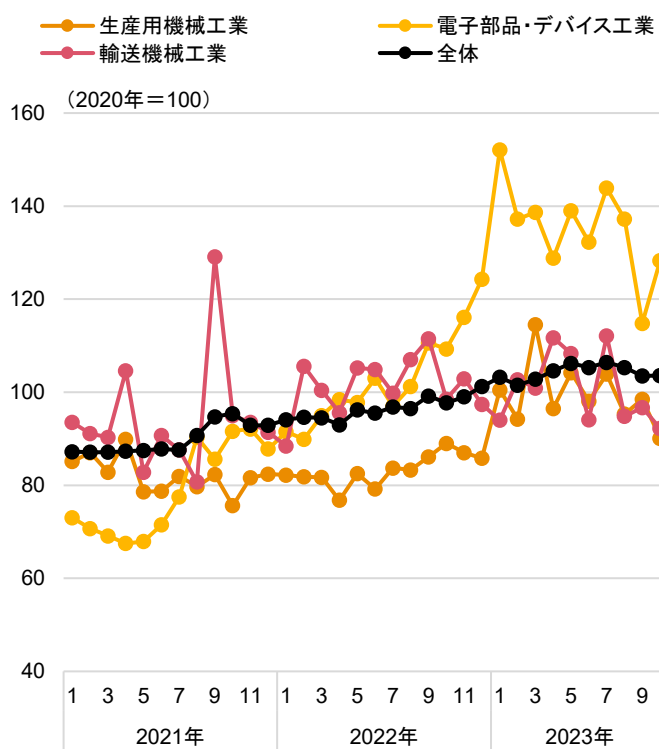
図表3は業種別在庫の動きをまとめている。鉱工業全体の在庫率は8月・9月と連続で低下したが、10月はわずかに増加した。電子部品・デバイス工業の在庫率が10月に拡大したことが影響している。生産用機械工業と輸送機械工業の在庫率は低下が続く。

製造工業生産予測指数について産業別にみると、生産用機械工業、化学工業、汎用・業務用機械工業の拡大が前提となっている。企業の生産マインド指数の動きをみると、原系列は再びマイナスとなったものの、生産計画を強気とみる企業と弱気とみる企業の割合はほぼ同数である。月々の上下動をならしたトレンドは-2.2%ポイントとマイナスが続くものの、景気後退の分水嶺である-5%ポイントを明確に上回り、2021年7月以来の水準である。海外景気の下振れの影響については留意する必要があるものの、企業の生産マインドが引き続き上向き方向であるのは良い材料と言えよう。

図表2:業種別生産(季節調整値)



図表3:業種別在庫率(季節調整値)



出所:経済産業省より筆者作成。

片岡 剛士

チーフエコノミスト、執行役員

PwC Intelligence

PwCコンサルティング合同会社

伊藤 篤

シニアエコノミスト

PwC Intelligence

PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー Tel:03-6257-0700

©2023 PwC Consulting LLC. All rights reserved. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.